

省エネルギー推進広報事業について

我が国は平成23年度のエネルギー消費量は、平成2年度と比べると、4・6%増加しています。部門別では、産業部門は11%減少しているものの、民生部門（家庭・業務）は33・6%増加しています。（出所：「平成23年度におけるエネルギー需給実績（確報）」資源エネルギー庁総合政策課）

その要因として、世帯数の増加とともに快適利便性を求めるライフスタイルの変化が影響していると考えられます。

経済産業部ではこのような課題を受けて、平成23年度から省エネルギー推進の広報事業（省エネ実践・指導人材育成事業）に取り組んでいます。

今年度は、民生部門のうち家庭での省エネルギー対策の推進に資するため、次世代の担い手である子供たちや小中学校の先生を対象とした省エネ実践授業及び教育セミナーを開催しましたので、御紹介します。

小学生を対象としたエネルギー教育

身近で日常生活に欠かせない「エネルギー」に対する子供たちの理解

テーマ	カリキュラム
▶STEP1 「関心：親しむ・気づく」 【沖縄のエネルギー】	クイズ劇（パワーポイント使用） 「沖縄のエネルギー」
▶STEP2 「知る：理解」 【何のために省エネ】	工作「ペットボトルで風力発電」 スタンブラー 「発電実験（火力発電、風力発電、自転車発電、電球比較ほか）」
▶STEP3 「行動：実践する・守る」 【省エネの実践】	クイズ（パワーポイント使用） 「家庭でできる省エネ行動と効果」 グループ学習 「どこでできる省エネ？」 省エネチャレンジシート作成 「省エネチャレンジシート」

を深めるとともに、「省エネルギーの重要性」を認識してもらい、「実践的・継続的な省エネルギー行動」へとつなげることを目的として、環境教育に熱心な左記の4校で以下のカリキュラムを行いました。

- ▼平成25年11月12日 石垣市立登野城小学校【5年生】
- ▼平成25年11月13日 宮古島市立南小学校【6年生】
- ▼平成25年11月14日 浦添市立港川小学校【4年生】
- ▼平成25年11月15日 那覇市立識名小学校【4年生】

5、6年生の授業で実施したワークショップでは、予想以上の盛り上がりで、真剣な顔で討論する場面も見られました。

最後に実施したアンケートでは、「今日の授業で、初めて、エネルギーについて分かったことがいっぱいあつたので、もっと知りたいと思った。」などの感想や、これから気を付けたいこと、「シャワーの出しつばなし」や「使っている電化製品のコンセントは抜く」など省エネに対する意識の向上が見られました。

エネルギー教育セミナー

小中学生に対し、エネルギー教育を効率的・効果的に実施するためには、小中学校の先生を対象に、①エネルギーについての基礎知識の習得、②授業に活用できるワークショップ手法（体験型プログラム事例）の習得や体験等のカリキュラムでセミナーを10月に開催しました。

受講された先生方からは、「子供たちにもエネルギーの大切さを知らせたい。」「小学生には難しい部分もあると思うが、是非学習していただきたい。」「小学生には難しい部分もあると思うが、是非学習していただきたい。」「小学生には難しい部分もあると思うが、是非学習していただきたい。」「小学生には難しい部分もあると思うが、是非学習していただきたい。」などの意見が多く聞かれました。



省エネルギー対策へのお願い

経済産業部では、前記の取組のほかに夏季・冬季のエネルギー需給が増える時期に、県民一人一人が節電・省エネルギーに対する意識を高め、省エネルギー対策に取り組むよう呼びかけています。

皆様の御協力をよろしくお願いします。

経済産業部HP
冬季の省エネ対策への協力依頼
<http://ogb.go.jp/keisan/oshirase/>

「省エネ実践授業」及び「教育セミナー」を開催